



今月の話題：8月は敗戦を思い出す月である。特に今年は戦後70年という節目で新聞紙上のみならず、各地で戦争の記憶を辿る催しがある。戦争体験者は既に90歳を越え、遺言の如く過酷な記憶が語られている。私は学童疎開の最年少組で当時7歳、親元を離れた厳しい生活を強いられ、登校途上、機銃掃射を受けたこともある。戦争の主因は価値の偏在にあり、それは武力抗争では解決し得ないことを世界に啓蒙すべきではないか。(伊藤誠三)

□ 本部便り：(金森捷三郎記)

・7月22日(水)からサーツサロン(仮)を開設しました。事務所の空き時間を利用して毎週水曜日の午後1時～午後5時まで、事務所を会員に開放し、会員相互の懇親に使って頂けます。ビールは1缶150円でつまみは自由に持ち込んでください。冷蔵庫も新調しました。なお、初回は早速、賑やかな集まりがありました。

・9月2日開催の拡大理事会のため、各部に資料をお願いしております。締切りは8月26日(水)です。

・事務所は8月13日(木)から17日(月)まで夏休み

○次回拡大理事会：9月2日 18:00～

□ 建築部会：(安部重孝記)

・寺子屋第3回「ネパール地震報告等」9月9日開催として、HPで参加募集しています。情報充実のため、7/17建築学会ネパール地震調査団長の東大地震研究所楠教授を訪問し、有意義でした(丸山、細川、安部)。

・7/27伊藤忠都市開発 教育・研修会 第2回「コンクリートの基本事項」を、現在、建築学会 JASS5 改訂全国講習の講師をしておられるサーツ会員・早川光敬東京工芸大教授を講師とし開催し、関心が高く、盛会でした。

・東京都と共催の「マンション耐震強化」が9月13日(日)開催と決まりました。建築部会とマンション管理組合支援事業部会が対応し、東京都のマンション課と準備打合せをしています。

・オートデスク社からの受託業務「BIMプログラム-Revit-のマニュアル日本語訳支援」泉さんを中心に順調に進んでいます。7/13オートデスク社の方が来訪され、BIM普及について協議しました。

・7/23特殊建築物等定期調査報告業務WG(主査・丸山)第1回打合せ。

○次回建築部会WG：8月3日(月) 15:00～16:30、

建築部会：8月は夏休み休会です

□ 戸建住宅部会：(小藤捷吾記)

・ある地方住宅開発業者から依頼を受け、この会社の標準仕様や建築・引き渡し後の建物の耐火仕様の改訂についてお手伝いすることになっています。この会社は毎年、何百棟を供給している実績があります。問題は現有の「設計・施工マニュアル」に改訂するときの手順や方法が不明瞭の為、誤った基準となっていることです。現在、「規

定原案」のチェックを行っている最中で、間違いのチェックのみならず、いろいろな提言もしていきたいと考えています。更に、日々、社内で起こる問題対処のための「スピーディーな技術相談」を依頼され、既にいくつか対応しています。検討分野は多岐にわたり大変ですが、こんな関係が続いていけば、この企業にとってサーツが良い相談相手と欠かせない存在になるのではないかと思います。

○次回部会予定：8月は夏休み休会です

□ 集合住宅部会(小畑晴治記)

・4月から、3回に分けて開催した久米川駅東住宅連続勉強会が6月27日で好評裏に収束し、今後の取組の方向性に多くの教訓が残りました。大規模修繕や、建替か修繕かの検討会を過去に実施している居住者達であっても、少し技術的な内容が含まれる説明には、理解が及ばないということなどです。

・東京都のマンション施策の答申案について、パブコメが呼びかけられていることと、サーツでの取組テーマとの関連性から意見交換を行いました。また、緊急輸送路の沿道建築物耐震改修事業への、サーツとしてのコミットの可能性について意見交換を行い、検討会を重ねてみようということになっています。

○次回部会予定：10月6日(火) 18:00～

□ マンション管理組合支援事業部(向野元昭記)

・「シャルマンコーポ東村山」の管理組合対応の件ですが、監理業務打切り精算金の請求について、ほぼ先方の要求を受け入れた文書に書き替えたものを、7月27日付けで送付して反応を待っているところです。

○次回部会予定：10月6日(火) 16:00～18:00

□ 建築技術誌8月号サーツ欄掲載記事

・松本年史：「三匹の子豚」に学ぶ建築・構造計画
(今号より主題「建築の喜怒哀楽」)

・阿部市郎：戸建部会報告—ショートスピーチについて

□ 短信：太田統士相談役、阿部戸建住宅部会会長が短期間、入院加療されましたが、既に退院されました。

□ 余滴：静かなる近江の路地の夏祭り 捷三郎